



Magpie Air



警告

以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体に重大な影響（死亡、重傷等）が発生する可能性があります。誤った取扱いは、火災・感電の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。

- ・分解やお客様自身での修理を行わないでください。
- ・落下などの強い衝撃や振動を与えないでください。
- ・湿気の多い場所に保管したり、濡れた手で触らないでください。
- ・暖房器具の近くや、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所での保管、放置をしないでください。
- ・ホコリや塵の多い場所での保管、放置をしないでください。

お手入れについて

- ・シンナーやアルコール等の薬剤を使用しないでください。
- ・乾いた布やクロスで定期的に拭き上げてください。

取り付けについて

- ・本品の取り付けは専門の知識・技術・環境が必要となります。
- ・取り付けの条件が揃わない場合はギターリペアショップに依頼して下さい。
- ・また取り付け時におきた、キズ、割れ等のミス（破損）に関しましては当社では責任を負いかねます。



Magpie Air

取扱説明書



Magpie Air

はじめに

この度は、Mi-Si 製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に本紙をよくお読みになってからご使用ください。また、本紙は保証書を兼ねておりますので、大切に保管してください。Magpie Air は、アコースティックギター用のバッテリーフリー・アクティブマグネティック・サウンドホールピックアップシステムです。独自の「平面」シングルコイルを採用することで、従来のボビン巻きピックアップよりもハムノイズの影響を受けにくい設計となっています。さらに、MEMS マイクロフォンを搭載しており、双方の信号をブレンドすることで幅広いサウンドを提供します。Mi-Si Power Charger を使用して 60 秒間充電すると、最大 6 時間の使用が可能です。

セット内容

本製品には下記内容が含まれています。必ず内容をご確認いただき、万一不足がありました場合は保証書面に記載のキクタニミュージック株式会社までご連絡ください。

- Magpie 本体
(Magpie マグネティックピックアップ、バッテリーフリーアクティブプリアンプ、1/4" モノラル標準フォンジャック)
- 専用充電アダプター
- 取扱説明書兼保証書 (本紙)

取り付けの前に

本製品の性能を十分に引き出すためには、取り付けにあたり専門の知識・技術・環境が必要です。

取り付けの条件が揃わない場合、お買い上げのお店あるいは専門店へご依頼ください。

また、取り付け時に発生した本体のキズ、割れ等のミス (あらゆる破損)、不適切な取り付けや製品の誤用、本紙の禁止事項が守られない場合、専用アダプター以外での充電等によるあらゆる障害、損害、楽器本体の破損、本製品の故障に関しましては当社では責任を負いかねます。

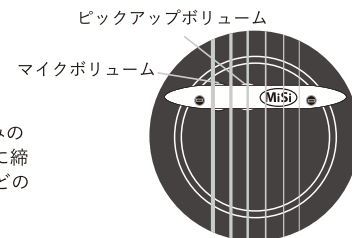


Magpie Air

取り付け方法

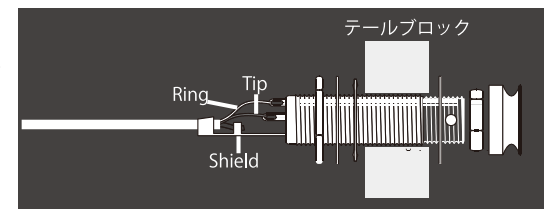
サウンドホールへの取り付け：

マイナスインプライバーで本体両端のクランプを緩めます。サウンドホールに弦に対して垂直になるようにピックアップを置きます。お好みのサウンドに合わせて、ピックアップ位置を調節してください。クランプを慎重に締め直します。このとき 締めすぎないように注意してください。楽器の塗装割れなどの破損が起こる恐れがあります。



エンドピンジャックの取り付け：

エンドピンジャックは右図を参考にに取り付けてください。(取り付け経は 12.5mm です。)



ボリュームコントロール：

本製品にはマイクとピックアップの音量調節が独立して装備されており、ますので、それぞれの出力をコントロールできます。お好みのサウンドを見つけてください。

充電とプラグイン：

本製品を充電するには、まず、付属の専用充電アダプターをコンセントに差し込みます。

次に、専用充電アダプターの 1/4 インチステレオプラグをピックアップのエンドピンジャックに差し込み、最初の 2~3 回は充電時間を 120 秒ほど充電してください。その後は 60 秒間充電します。満充電で 6 時間の使用が可能です。(実際の使用時間は演奏スタイルによって異なる場合があります)。

1/4" 標準モノラルフォンケーブルを使用し、任意のシステムまたはアンプに入力します。

非常時の充電：

本品は基本的に付属の充電アダプターで充電するように設計されていますが、もし付属の充電アダプターを忘れたり失くしたりした場合の非常時には 1/4" 標準ステレオフォンのオス - オスコードと 9V 電池で充電が可能です。ステレオコードを楽器に差し込み、9V 電池のプラス端子がステレオプラグのリングに、マイナス端子がグラウンドに触れるように保持することで充電が可能です。もし 誤ってバッテリーを逆方向に接続してもシステムは損傷しません。

